

はじめて育成会長になられた方にも
実例集がたっぷり

子 も 会

マニュアル

楽しさいっぱい
仲間もいっぱい

地域で活動
育て見守る

笑顔
いっぱい



企画制作

一般社団法人川崎市子ども会連盟

子ども会推進研究委員会

<はじめに>

子ども会を取り巻く環境は、年々変わっています。子ども会存続の危機に瀕している地域もあります。現代の子どもたちに寄り添いながら活動していくには、育成者としてどのような意識が必要でしょうか。初めて子ども会に携わる方、役員を引受けたけどどのように運営していけばよいかわからない方。そんな方のための指針として、このマニュアルを活用していただきたいです。

子ども会は地域の元気そのものです。子どもが子どもを呼び、子どもがお年寄りやみんなを楽しませることができるのです。多くの世帯で共働きが増え、親と子の接する時間が短い分、学校への負担が年々大きくなっています。通常の授業のほかに、生活学習（一般常識）を含めた様々な常識的な学習を家庭（親）の代わりに教えるカリキュラムも出てきました。子どもの心身ともに健全育成を図ることを目的とする子ども会の存在価値はますます高まり、地域や教育機関にも必要とされています。

家庭と学校の間にあるのが、「地域で育成」＝子ども会です。

子ども会推進研究委員会

＜活動方針＞

新しい時代を迎えた川崎市の子ども会の現状は、依然として各単位子ども会数・会員数の減少が続いております。この理由は、価値観の多様化・グローバル化と働き方の変革などにより、子ども会組織の活動の担い手である指導者・育成者のなり手が少なくなっています。子どもを取り巻く環境が多種・多様化、及び複雑化しているにもかかわらず、子ども会活動が旧態依然のまま行われていたり、その変化に対応する認識が薄くなっていることなどが考えられます。時代がどのように変わろうと、地域の中で子どもたちの元気な笑い声や、笑顔が見られることは地域を明るく活性化させます。子ども会活動の特長である「地域において、異年齢の子どもたちが体験活動を通してこそ、真の成長ができる」この活動の活性化を図り、そしてその活動を通して地域のニーズにこたえることにより、未来を担う子どもの健全育成に繋がると確信しています。

川崎市子ども会連盟は、各区の子ども会と連携し、地域に根ざした文化・伝統活動、スポーツ活動、環境科学活動、安心・安全活動を通じて子ども会の活性化を推進し、子どもの健全育成を支援するために、下記のことを重点方針として掲げます。

- ① 子ども会への加入促進と組織の充実を図る
- ② 安全第一が子ども会活動の重点目標であることを認識し、安全教育の徹底を図り、活動中の事故撲滅を目指す
- ③ 若い指導者・育成者の養成と拡充を図る
- ④ ジュニアリーダー・シニアリーダーの養成と拡充を図る
- ⑤ 子ども会の認知度促進のため、あらゆる媒体に働きかけるとともに、他団体と連携して、国際性豊かな子どもの健全育成に努める
- ⑥ 子ども会の将来の在り方を研究し、子ども会を活性化するために設置した「子ども会推進研究会」の提案を実行するとともに、引き続き研究する
- ⑦ 学校・町会などと連携し、地域の育成力を高めるとともに、少子高齢化に向けて、多世代交流を推進する

川崎市子ども会連盟ホームページより

http://www16.plala.or.jp/kawakoren/public_html/index.html



目 次

1 子ども会の組織図	P4
2 地域や関連組織との連携	P5
3 単位子ども会の活動	P6
4 ジュニアリーダー・シニアリーダーの養成と子ども会	P7
5 実例集	
① 地域との連携（町内会、学校など）	P8~P17
② 関連団体との連携 （PTA、青少年指導員会、スポーツ推進委員会、社会福祉協議会）	P18~P21
③ 上部組織との連携（区子連、市子連など）	P22~P24
④ 単会単独	P25~P31
⑤ 情報共有（役員・会員との情報連絡など）	P32
⑥ 広報活動	P33~P36
⑦ スタッフの人材確保	P37
⑧ 企業との取り組み	P38
6 引継ぎメモ	P39

※実例集の取り組みに関する問い合わせは、川崎市子ども会連盟事務局へご連絡願います。

事務局：kawasaki@kodomo-kai.or.jp



1 子ども会の組織図

<子ども会>

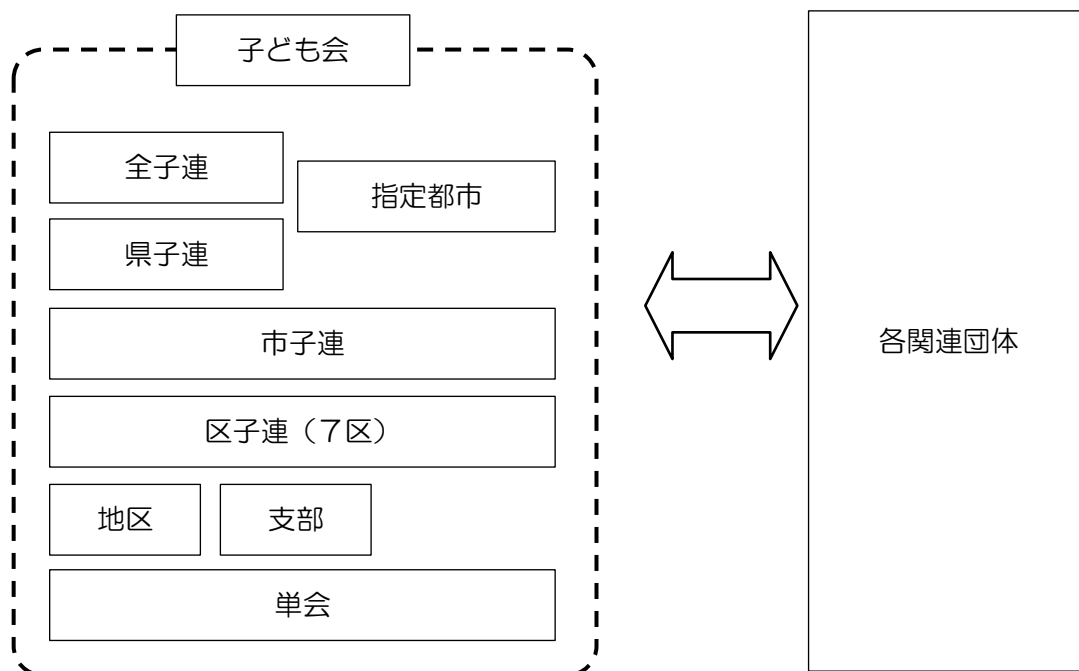
- ・公益社団法人 全国子ども会連合会 【 呼称：全子連 】
- ・指定都市子ども会連絡協議会 【 呼称：指定都市 】
- ・神奈川県こども会連絡協議会 【 呼称：県子連 】 ※他県含めて
- ・一般社団法人 川崎市子ども会連盟 【 呼称：市子連 】
- ・〇〇区子ども会連合会 【 呼称：区子連 】
(〇〇には川崎・幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生)
- ・地区・支部
 - 川崎区：3支部（川崎、田島、大師）
 - 高津区：2地区（高津、橘）
 - 宮前区：2支部（宮前、向丘）
 - 多摩区：2支部（生田、稲田）
 - ※幸区、中原区、麻生区は地区・支部なし
- ・単位子ども会 【 呼称：単会、単子 】

※ 川崎市子ども会連盟ならびに区子ども会連合会組織における各種委員会組織

- ・体育委員会
- ・成人研修委員会
- ・安全教育委員会
- ・インターネット委員会
- ・シニアリーダースクラブむげん
- ・子どもリーダー養成委員会
- ・文化広報委員会
- ・ジュニアリーダー養成委員会
- ・子ども会推進研究委員会

<関連団体等>

- ・学校・川崎市 PTA 連絡協議会
- ・町内会、自治会、消防団
- ・地域教育会議（地域学校協働本部）
- ・スポーツ推進委員会
- ・こども文化センター
- ・ボーイスカウト川崎地区協議会
- ・警察署、消防署
- ・地域商店会
- ・青少年指導員会
- ・社会福祉協議会
- ・川崎海洋少年団
- ・ガールスカウト川崎市連絡会



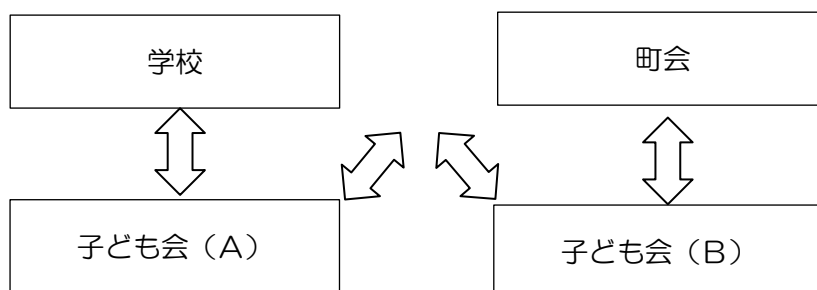
2 地域や関連組織との連携

町内会や学校、地域所属の関連団体、地元企業などとの連携を深めることが重要であり、様々なイベントにおいて、子ども会としてスタッフの派遣や、子どもが参加することで貢献し、必要とされる存在を目指しましょう。

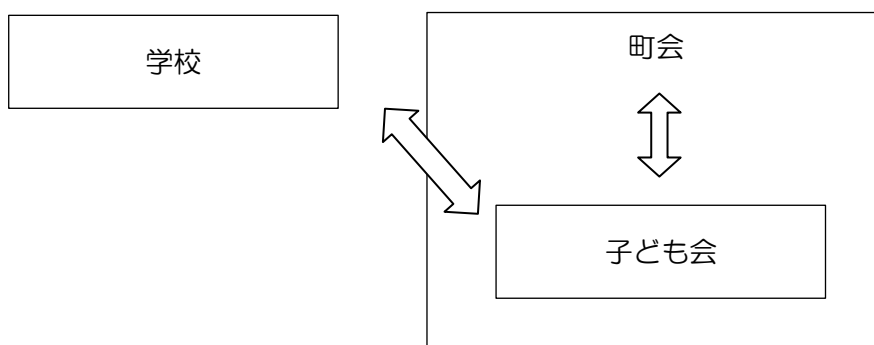
(ア) 地域との連携

- ① 町会行事（夏祭り・運動会など）へ、積極的に参加（協力・貢献）することで、子ども会への理解・関心を広め、支援を得られるようにする。
- ② 学区内小学校の行事（卒業式・入学式・地域教育会議・学校施設開放・教育推進会議など）へ参加し、学校との関係を作り上げる。
- ③ 隣接する子ども会との共催行事を推進し、学区・町会の管轄を網羅することにより、協力が得やすくなる。
- ④ 子ども会の位置づけにより、支援の得られ方も違うので、協力体制については、町会会長や学校校長などとよく確認することが望ましい。

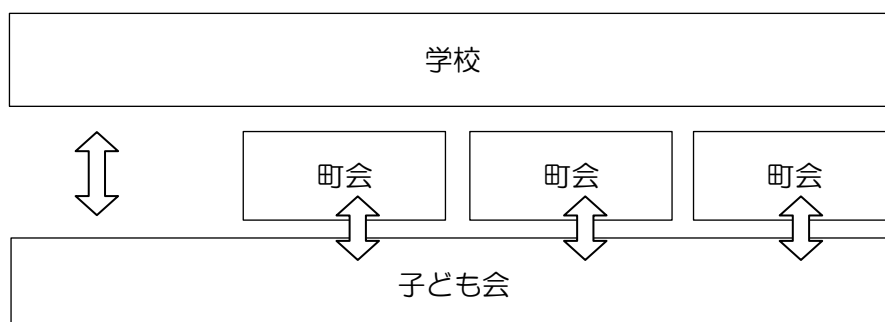
例 1）独立型（入会者の会費のみで独自に運営している）



例 2）町会下部組織型（町内会からの補助を受けている）



例 3）学区一括型（複数の町内会をまたがって会員を構成している）



(イ) 関連団体との連携

- ① P T A、青少年指導員会、スポーツ推進委員会、社会福祉協議会など、地域行事を主催する団体に協力することで、お互いの協力関係を築く。
- ② 野球、ドッジボール、バドミントン、バレーボール、羽根つきなど、スポーツ活動を中心とした子ども会においては、区子連登録することで活動の支援を得られ、活躍の場を広げることができる。

(ウ) 上部組織（区子連、市子連）との連携

- ① 区子連や市子連主催の行事に積極的に参加することで、運営面でのメリットを得ることができる。
 - (a) 単会の行事の集約ができる。
 - (b) 広い地域で、子どもたちに友達をつくることができる。（仲間意識）
 - (c) 他の単会役員とのコミュニケーションの場になり、情報収集できる。

3 単位子ども会の活動

子ども会独自の行事だけでは、年間予定を充実させるのは大変なので、上部組織や関連団体のイベントと組み合わせて、上手に日程を組むことが大切です。

<注意点>

学校や町内会のイベントなど、会員以外の子どもも含めてのイベントの場合、お菓子を配る際など、子ども会が用意するものについては『会費』で用意するものであるため、適切に区別する必要があります。

「平等」という考えで悩ましい場面でも、ここは明確にする必要があるところです。

(ア) 広報活動

昨今の入会数減少の主な原因の一つに「子ども会の存在を知らない」ということがあり、広報活動は重要な活動となる。

- ① 子ども会の存在をアピールする。
- ② 子ども会の意義「地域で育成」をわかりやすい言葉で伝える。

(イ) スタッフ（役員）の人材確保

昨今の入会数減少のもう一つの原因の一つに「役員の担い手がいない」ということがあり、大人のコミュニケーションが重要となる。

- ① 活動（イベント）は、自分たち役員も楽しめるものを企画し、楽しさや喜びをアピールできるとよい。
- ② 「例年通り」に拘りを持ちすぎず、自分たちの体制や子ども達の状況に応じたイベント企画とすることで、無理なく負担感の無い活動ができる。
※例年通りは、一見楽そうに思えるが、時には非常に大きな負担を強いるものもあるので、柔軟な考え方が必要。
- ③ 役員の仕事の共有、合理化、引継ぎ体制の整備により、役員になることの不安を解消し、役員へのハードルを下げる事も必要。

4 ジュニアリーダー・シニアリーダーの養成と子ども会

(ア) リーダー研修会

各区では、それぞれリーダー研修会を実施しています。リーダー研修会の対象は各区によって異なりますが、小学校中学年から高学年までとしています。各単位子ども会のリーダーを養成するために、実施をしています。

リーダー研修会の運営には、各区の青少年リーダー養成委員会が携わっていますが、個別のプログラムの運営はジュニアリーダー（中高生のリーダー。略称、JL）が関わっていることもあります。ジュニアリーダーや子ども会の役員からの指導を受けて、所属する単位子ども会のリーダーになるための研修会を毎年開催しています。

(イ) ジュニアリーダーの養成

子ども会の会員は小学校 6 年生までであるため、小学校を卒業すると子ども会を離れないといけないうように思われるかもしれませんが、そうではありません。上述したように、中学生・高校生のリーダーを子ども会では、ジュニアリーダーと呼びます。

ジュニアリーダーの多くは、リーダー研修会に参加した子であり、子ども会活動のときに小学生に近い存在の見本となる存在です。その活動は、多岐にわたりますが、子どもたちの前でレクリエーションを行い、子ども会活動をより楽しいものにします。また、こうしたジュニアリーダーを養成するために、川崎市 JL 研修会、神奈川県研修会、全国規模での研修会などが実施されています。ジュニアリーダーのレベルアップは、全国規模で行われています。

(ウ) シニアリーダーの存在

ジュニアリーダーを養成するために川崎市 JL 研修会を実施していますが、その運営は川崎市の JL 養成委員会とシニアリーダースクラブむげんが行っています。川崎市のシニアリーダーは、川崎市内で 1 年以上のジュニアリーダー活動を行った 18 歳以上（高校卒業程度）から 28 歳までのメンバーを指します（略称、SL）。小学生に近い存在での見本がジュニアリーダーであるならば、ジュニアリーダーの見本はシニアリーダーとなります。JL 研修会では、ジュニアリーダーに必要とされる知識や技能を養成しています。

(エ) 子ども会とリーダーの存在

子ども会は、未就学児から大人に至るまで、異年齢の集団であるといえます。多くの人が小学校卒業と同時に、子ども会も卒業していきませんが、中学生になっても活動ができる環境があります。異年齢集団に所属し、様々な考え方などに触れ合うことでより素敵な人格形成が期待できます。

5 実例集

実例集は、成果を上げている活動の一部です。ここからヒントを得てください。

① 地域との連携（町内会、学校など）

➤ 町会行事（秋祭り、連合運動会）へは、子ども会役員は手伝いとして参加する

（目 的） 町会（当単会は、町会の下部組織でない）との連携の促進。
協力関係の構築。（助成金の確保、備品借用の協力等）
地域の中での子ども会活動という認識の熟成。

（内 容） 当単会は、3町会で一つの子ども会であるが、それぞれの町会で子ども会育成会役員は、手伝いとして町会行事に貢献している。

（ポイント）

- ・ 子ども会行事でない行事に育成会役員であるからと言って手伝う事に対する抵抗感がある方もいるかもしれないが、年度当初に活動内容に関して周知することにより、その抵抗感を払しょくする。ただ、当初予定されていない町会行事の手伝いをお願いすると、賛同を得られない事がある。
- ・ 町会の備品を借りられる、町会の倉庫に子ども会備品を保管できる等の協力をしていただいている。町会行事の活動の中での親睦により、子ども会役員への就任の声がけもできる。



（提 供 元） 中原区

➤ すがお手つなぎまつりへの参加（向丘地区）

（目 的） 地域の中での子ども会活動という認識の熟成。
地域の他団体との連携強化。
地域育成関係機関との連携強化。

（内 容）

- ・宮前区菅生地域で市の教育委員会「地域の寺子屋事業」として、菅生中学校区地域教育会議、地域の自治会、商店会、地域子育て支援センター、保育園、こども文化センターなど複数の団体が協力して、乳幼児から高齢者の方が集まり、世代を超えた地域の人々との交流を通じて、手を取りあいながら楽しく子育てができる町になってほしい、と開催されている行事。
- ・宮前区子連向丘支部として、毎年、そば・うどんの模擬店を出店している。



（ポイント）

- ・出店前に申し込みや書類手続き・参加団体の顔合わせが必要。
- ・参加団体の紹介資料を冊子として開催会場で配布されるので、団体の PR 活動としても有効。
- ・地域の関係各団体と連携を強化することができ、子ども会の認知や PR 活動にも有効。

（保育園も参加しているので、将来の会員確保の布石となる可能性もある）

（提 供 元） 宮前区

➤ 町内会お祭りに参加する

(目 的) 地域町内会との連携強化、運営資金の確保

(内 容) 町内会主催で行うお祭りに参加するとともに、夜店出店を行う

○参画によりお手伝いする内容

- ・事前準備（神社清掃、子ども神輿・山車の清掃）
- ・子ども神輿巡行
- ・盆踊りの参加

○夜店出店内容

- ・軽食（フランクフルト、タコ焼き、うどん等）
- ・デザート（かき氷、パイン棒、フルーツジュース等）
- ・おもちゃ（くじ引き、光物おもちゃ等）



- (ポイント)
- ・町内会の方と連絡を密にし、役割に漏れがないことを事前に確認する。子ども神輿の巡行においては、気温・湿度の上昇により体調を崩すお子さまがいるので、目配りが必要。
 - ・夜店は保護者だけでなく、高学年の子どもたちと一緒に行うことで元気良い声かけが増えるので集客力がアップする。

(提 供 元) 幸区

➤ 町内会運動会に参加する

(目 的) 地域町内会との連携強化。

(内 容) 町内会主催で行う運動会に参加する。

○事前準備

- ・鈴割作り、賞品の準備（お菓子の袋入れ等）

○当日対応

- ・招集係、賞品の受け渡し



- (ポイント)
- ・当日は係の仕事もあるが、交代で運動会の種目に参加し場を楽しむこと。
 - ・町内会の方と連絡を密にし、役割に漏れがない気を付けること。

(提 供 元) 幸区

➤ 子ども会主催町会太鼓クラブ

- (目 的) ①成長し自立しても、子ども会をはじめ町会などに関わってくれる人材の育成。
②子ども会が町会行事に大きく関わることで、町会内での立ち位置のアピール。

(内 容) 夏の盆踊り大会での太鼓のたたき手を子ども会で募集、指導をしてたたき手として参加をさせる。踊りの練習はもちろん、町会の年配、高齢者との交流を積極的におこなう。

- (ポイント)
- ・櫓の上で太鼓をたたく事をはじめ、踊りの輪に積極的に入る姿勢を町会に見せる。
 - ・子どもが子どもを呼び、子どもが高齢者を楽しませる事をキーワードに子ども会が積極的に町会主催の盆踊りに関わるようにする。

※現在はアナウンスでの場内進行も子ども会です。小学生だった子たちが高校生や大学生になっても地元のお祭りで運営に関わったり、長じて子ども会の指導者になる、という地域における人材育成も実現しています。

(提 供 元) 高津区



※タウンニュース社に取り上げられた太鼓クラブ

➤ 隣接町会「宿河原4丁目」「宿河原5丁目」合同の共催行事 **どんど焼き**

(目 的) 地域町内会の新年スタート行事を子ども会で町を明るくし、活性化。良き一年のスタートとする。

(内 容) 隣接する2町会合同での新年スタートの神事伝統行事

- ・子どもが何班かに分かれ、町内を歩いて廻り、松飾りなどを集める
- ・松飾りは、多摩川河川敷に持っていき、どんど焼き
- ・多摩川でのどんど焼きは、神主さんと呼ばひ無病息災等を祈願してもらう
- ・集めた松飾りの一部は公園で町内会と合同で整理し、ミニどんど焼きを開催
- ・ミニどんど焼きはみなで祈願し、お昼にお餅を焼き、豚汁などをふるまう



(ポイント) 近年各地域で火を燃やす行事が出来なくなり、どんど焼きが消滅しつつある。多摩川河川敷だけは現状実施可能であり、今後も良き伝統行事として可能な限り継続したいと思う。

(提 供 元) 多摩区

➤ 町内会ミニサロンに参加する

(目 的) 地域町内会との連携強化。

(内 容) 町内会の福祉部が主催するミニサロン（年２回）に参加する。
来場するお年寄りと子どもが楽しく過ごせるイベントを企画。
○夏の企画
室内レクリエーション、かき氷作り（子どもがつくり来場者に配布）、
スイカ割り、囲碁教室
○冬の企画
室内レクリエーション、お汁粉作り（子どもが作り来場者に配布）



(ポイント) ・室内レクは短時間でできる軽めのイベントを企画すること
・衛生管理の観点から、必ず調理用の手袋を着用すること

(提 供 元) 幸区

➤ 小学校の諸行事への参加

(目 的) 小学校との連携の促進。

(内 容) 卒業式、入学式、地域教育会議、施設開放、教育推進会議等へ参加し、小学校との関係を作り上げる。勿論、お祝いも持参。

(ポイント) 小学校との協力関係の構築(子ども会行事での校庭の使用、備品借用等)に寄与する。地域の中での子ども会活動という認識の熟成にも寄与する。子ども会は施設開放としての小学校校庭の使用も優先的に割り当てられる。

(提 供 元) 中原区

➤ 入学式・卒業式への参加

- (目 的) ①子ども会会員数増加を狙うためのアピールの場としての活用
②学校に地域団体としての協力体制のアピールの場として活用
- (内 容) 学校で開催される入学式、卒業式へお祝い金を単会子ども会として持参して、来賓としての参加をする。また電報ではなく入学式などにはメッセージカードを作成し届けるようにする。
特に入学式では電報やメッセージカードは多くの学校で、新一年生やその保護者に見ていただける場所への掲示がされることがある。



※新一年生向けに制作された
メッセージカード



※保護者向けに制作された
メッセージカード

- (ポイント)
- ・入学式では多くの新一年生と保護者が自分たちをお祝いしてくれているものに目を向けます。
 - ・電報ではなく手作り感のあるメッセージカードは温かさ感じさせる効果の他、入学早々で子ども会の存在を大きくアピールする場にもなります。
 - ・児童向けにするか保護者向けにするかによりデザインも多少変化させるなども必要になります。
 - ・お祝い金は学校にとっても有難い収入になりますので、近隣町会はもちろん、近隣の子ども会もしっかり持参するようにします。
 - ・これにより新一年生とその保護者だけでなく、学校に対しても、子ども会としてお祝いしているという、しっかりしたメッセージを伝えることに繋がります。

(提 供 元) 高津区

➤ やってみよう！

- (目 的) ①中・高・大学生のお兄さんお姉さんから教えてもらうことで、進学することへの期待を膨らませてもらうということ。
②少し上のお兄さんお姉さんはもちろん、地域の大人との関わりからコミュニケーション能力や協調性を養う。チャレンジ精神からくる自主性を養う期待もある。

- (内 容) 近隣中学校の美術部・ボランティア部・将棋部へお手伝いを依頼。普段自分たちが部活を通してやっていることを小学生や幼児に教えてもらいます。

美術部…風景画、模写、イラスト（漫画テイスト含）の描き方講習
多くの女子児童が参加をします。

将棋部…将棋やオセロを子ども達と対戦していただきます。

子ども達も普段と違う相手に闘争心むき出しで頑張ります。

ボランティア部…老人ホームや幼稚園でのボランティア活動内でやる遊びや工作をやっていただきます。

子連ジュニア・シニアリーダーにもお手伝いを依頼。バルーンアートの講習やボランティア部と協力して子どもたちと遊んでいただきます。



(左) 2000 枚以上配布されたイベントのチラシ

(右) イベントの様子

- (ポイント)
- ・中・高・大学生には、普段自分たちが好きで取り組んでいる事を、指導者として小学生や幼児に関わってもらいます。それにより将来への夢や、進学への参考になればと考えています。
 - ・小学生や幼児にとってはお兄さんお姉さんへの憧れを持ってもらう切っ掛けになり、進学への不安などを取り除けるようになればと思っています。
 - ・ボランティアを部活として取り組む中学生と地域の一団体として取り組む中学生との接触は、ボランティアへの価値観を変え、関わる双方の学生にプラスになるといわれます。
 - ・イベント共済に加入してのイベントであるため、子ども会に未加入でも参加できる。
 - ・中学校区の小学校にてお手紙を配布し、イベント参加を促します。

(提 供 元) 高津区

➤ 小学校・中学校との連携

- (目 的) ①子ども会未加入のお子さんとその保護者、地域住民へのアピール
②学校教育と家庭教育のお手伝い
③子ども会イベントと学校イベントの連携

(内 容) 学校主催のイベントなどのお手伝いと参加。



※学校教育の中で制作されたペットボトルキャップアートが教育文化会館開催の子連主催作品展で展示された様子。

- (ポイント)
- ・学校との連携は子ども会未加入へのお子さんとその保護者へのアピールだけでなく、地域住民、町会などへの子ども会の存在をアピールする場にもなる。
 - ・子ども会をより知ってもらうことを目的とする他、子ども会からのチラシ配布などの要望なども実現しやすくなる。但しこれには子ども会が子どもたちの育成に大きく関わっていることのアピールも必要。

(提 供 元) 高津区

➤ 農業園芸体験会

- (目 的) ①目的地まで電車で移動し、集団行動を学ぶ
②花、草木、野菜などの自然の命あるものを育て、提供することを学び、命の大切さ他、様々な仕事があることへの興味、関心につながる。

(内 容) 県内にある農業園芸畜産を主に学べる高校に受け入れを依頼し、高校生や教員から、指導を受ける。土や泥を汚いと思うのではなく、草木や野菜を育てるのに必要なものだということへの理解と学び。

- (ポイント)
- ・試験や校内イベントと被らない日程を高校側に出していただくこと。
 - ・子ども会としてはそこに合わせるように動くようにする。
 - ・高校生にとっては、小学生に対して指導をすることで得られるかもしれない将来を考えるきっかけ的なイベントになり、小学生にとっては育てることの大変さと命の大切さを改めて考えられるようなイベントになればと考える。

(提 供 元) 高津区

➤ 隣接子ども会との共催行事の推進

- (目 的) 同じ小学校に通っている子同士の地域行事での交流。小学校との連携促進。
- (内 容) 子ども会の主催行事の夏祭りと歓送迎会を二つの子ども会で共催とする。
- (ポイント)
- ・子ども会同士の役割分担、役員の負担の偏りには配慮が必要。
 - ・子ども会の運営の仕方が違う場合は、気を使つての調整が必要となる。
 - ・ALL 小学校となるため、小学校の協力が得やすくなる。特に、チラシを全校に配布できることによるメリットは大きい。小学校との連携の促進。
- (提 供 元) 中原区

➤ ドッジボール部の組成

- (目 的) 子ども会会員女子の子ども会の中での運動活動の場の提供。
- (内 容) ドッジボールクラブの無かった玉川地区でのドッジボールクラブの組成ユニフォームは、当初は野球の地区連合チームのものを借用した。



- (ポイント)
- ・単会での組成は限界があると感じ、玉川地区で編成することとした。
 - ・当初の募集にあたっては、PTA と協力し、小学校で「親子ふれあいドッジボール大会」(現在も開催)を開催し、ドッジボールクラブ結成の PR を行った。
 - ・クラブ T シャツを作ることによるチームの一体感の醸造効果は大きい。
 - ・現在監督の指導力により、それなりの実力のチームとなった。
 - ・玉川地区のチームと言いながら、下沼部小学校の児童中心であったが、最近になり隣接小学校の児童も増えた。ドッジボールクラブの男子は、3 年までの活動の為、4 年生進級時に地元子ども会野球部に入部する例も見られる。

(提 供 元) 中原区

② 関連団体との連携（PTA、青少年指導員会、スポーツ推進委員会、社会福祉協議会）

➤ PTA 等主催行事への協力（共催）

（目 的） PTA（おやじのわ）との連携の促進。

（内 容） PTA（おやじのわ）主催行事（親子ふれあいドッジボール大会、防災キャンプ、玉川夏祭り等）への協力（共催）

（ポイント） ドッジボール大会、防災キャンプは当時の子ども会男性役員による発案。共催という立場で、どこまで役員に協力してもらうのかの調整必要。当初予定されていない行事の手伝いをお願いすると、賛同を得られない事がある。

（提 供 元） 中原区

➤ 玉川地区社会福祉協議会行事への参加

（目 的） 地域の中での子ども会活動という認識の熟成。

（内 容） 玉川地区社会福祉協議会行事（秋のスポーツ、玉川こども祭り）への参加。

（ポイント） 多団体の行事に参加することにより、地域行事の充実となる。



（提 供 元） 中原区

➤ こども文化センター祭りお手伝い

（目 的） 地域育成関係機関との連携強化。

（内 容） 小学校のわくわくプラザを管轄している「こども文化センター」が主催するお祭りに、子ども会としてお手伝いを行う。

（ポイント） ・ こども文化センターとあらかじめ打ち合わせをおこなうこと
（場合によってはお手伝い不要な場合があるため）
・ わくわくプラザを管轄するこども文化センターと連携を強化することにより、学校の開放施設（グラウンド・体育館）等の利用において、わくわくプラザが権利ある時間帯において融通いただける等利点あり

（提 供 元） 幸区

➤ 節分祭（豆まき）

- （目 的） ① 地域伝統行事の継承
② 参加することによる思い出作り

（内 容） 登戸地区社会福祉協議会、崇敬会の協力を得て登戸稲荷社境内で毎年行う行事。年男・年女の子ども会会員及び役員が祓を着てお祓いを受けた後、豆とお菓子を撒くことにより一年の無病息災を祈念する。昔から行われている地域伝統行事を継承し、子どもたちの思い出作りとして行っている。



- （ポイント）
- ・ 地域に密着した行事を行なうことにより子ども会をPR。
 - ・ 社協の「社会を明るくする運動」のPR。
 - ・ 子どもの頃の思い出として地域に愛着を持ってもらう。

（提 供 元） 多摩区

➤ セタまつり

- （目 的） ① 日本の文化に親しむ
② 親子・仲間に参加することによる親睦

（内 容） 日本の伝統文化であるセタまつりとしてそれぞれの願い事を短冊に書き近所から提供して頂いた孟宗竹に飾る。その孟宗竹を多摩区役所のアナトリウムに設置しセタを祝う。



- （ポイント）
- ・ 日本の伝統文化を理解し楽しむ。
 - ・ 区役所に設置することにより子ども会活動をアピール。

（提 供 元） 多摩区

➤ **なんでも挑戦隊！ ぴーす[※] の主催**

(目 的) 子ども会会員の育成の場の提供。
地域育成関係機関との連携強化。

(内 容) ・『目で見て楽しむ！ やって楽しむ!』を合言葉に年間を通して、いくつかのプログラムに挑戦していく。
・子どもの自主性、自発性を尊重し、様々な活動を通し、自己の理解を深め、可能性を発見する場を提供する。
・あらゆる自分の可能性に気づける機会を増やすために、原則全プログラムを受講する。

＜令和2年度のプログラム＞

- | | | | |
|-----------|------|---------------|----------------|
| I 文化体験 | 7月 | おりがみ | 素敵な世界をつくろう！ |
| II 文化体験 | 9月 | 木工作 | |
| III 異文化体験 | 10月 | ジャックランタンづくり | |
| IV 文化体験 | 11月 | 茶道 | 抹茶をたしなむ |
| V 料理実習 | 12月 | クリスマスケーキを作ろう！ | |
| VI 異文化体験 | 1月 | 英会話で遊ぼう | |
| VII 文化体験 | 2～3月 | 陶芸 | 形成～素焼き～色塗り～本焼き |



(ポイント) ・開催場所が複数の施設（こども文化センター、市民プラザ、市民館、小学校）を利用するので、諸手続きが必要。
・地域の関係施設と連携を強化することができ、子ども会の認知や PR 活動にも有効。

(提 供 元) 宮前区

➤ 地元商店会のハロウィンへの参加

(目 的) 地域の中での子ども会活動という認識の熟成。

(内 容) 地元商店会（隣接町内）主催のハロウィンへの参加。
子ども会役員数名が手伝いを行い、協力関係構築。



(ポイント) 他団体の行事に参加することにより、地域行事の充実となる。
景品、記念写真等は商店会で用意していただける。

(提 供 元) 中原区

➤ リレーカーニバルに参加

(目 的) 地域他団体との連携強化

(内 容) 幸区リレーカーニバル実行委員会が主催する町内会対抗のリレー競技大会に参加する。なお、本競技は大人部門もあることから保護者も含めて参加。

○競技種目

- ・小学校低学年混合800mリレー、小学校高学年混合800mリレー
- ・小学生女子800m走、小学生男子1000m走
- ・中学生女子400mリレー、中学生男子800mリレー
- ・一般男子400mリレー、一般混合800mリレー

他



(ポイント) ・子ども会会員以外の方も参加できるので、一緒に練習すること。
・リレー練習時には水分補給、適度な休憩等、選手の体調管理に目を配ること。

(提 供 元) 幸区

③上部組織との連携（区子連、市子連など）

➤ 幸子連主催行事（リーダー研修）への参加

（目 的） 子ども会会員の育成の場の提供。区子ども会連合会との連携強化。

（内 容） 幸区子ども会連合会が主催するリーダー研修に参加する
○リーダー研修内容

- ・ 開講式（工作体験、ジュニアリーダーによるゲームレク他）
- ・ ハケ岳宿泊事前研修（川崎マリエン宿泊研修、野外炊飯体験他）
- ・ ハケ岳宿泊研修（野外炊飯、ハイキング、キャンプファイヤー他）
- ・ 野外活動（鎌倉ハイキング、三ッ池公園探索、芋ほり他）
- ・ クリスマス会（工作体験、クリスマスプレゼント交換）
- ・ 閉講式（工作体験、メダル授与、修了書授与等）



（ポイント） ・ 開催場所が町内会以外の場所となるため、引率者が必要。
・ 引率する役員はリーダー研修養成委員としてお手伝いを行うこと

（提 供 元） 幸区

➤ 幸子連主催行事（区民祭）への参加

（目 的） 区子ども会連合会との連携強化。

（内 容） 区子ども会連合会が参加する区民祭に、区子ども会連合会の一員として、お手伝いを行う。
○ポテトフライ販売、タコ焼き販売、揚げパン販売など

（ポイント） 区子ども会連合会理事会にて区民祭の開催概要を確認するとともに、お手伝いの内容を確認すること

（提 供 元） 幸区

➤ **地域部会（13単会）行事への参加：相撲大会**

（目 的） 日本古来からの伝統行事の継承と地域子ども会の活性化

（内 容） 地域13単会の男女別相撲大会

- ・ 個人戦（幼児～6年生学年別）
- ・ 3人抜き横綱戦（Ⅰ部：1,2年生 Ⅱ部：3,4年生 Ⅲ部：5,6年生 各部の横綱を決める）
- ・ 団体戦（単会別1～6年生）
- ・ 7メートル角の白いマットに硬質ゴムの土俵サークル
- ・ 男子は上半身はだか、体育用短パンの上からまわし
- ・ 女子は上下体育ができる格好でまわし



（ポイント）

- ・ 学校の体育授業では行われない古き良き日本国技の伝統行事を継承しつつ、気軽に楽しめる子どもの地域イベントとする
 - ・ 1対1の真剣勝負
 - ・ 礼に始まり礼に終わる礼儀作法を学ぶ

（提 供 元） 多摩区

➤ **中子連主催行事への参加**

(目 的) 子ども会イベントの活性化。

(内 容) 中子連主催行事（写生会、凧揚げ大会、作品展等）への参加
区子連主催、野球・ドッジボール・羽根つき大会への参加



(ポイント) 年度当初に役員をイベント引率に割り振る。また、地区の他の小学校の生徒との交流にもなる。

(提 供 元) 中原区

④ 単会単独

➤ 遠足企画の立ち上げ

(目 的) 単会行事の活性化。

(内 容) 遠足(日帰り)行事を企画
2014年度 TeNQ、2017年度～2019年度 川崎市子ども夢パーク
子ども会での費用負担は、基本交通費と施設利用料(川崎市子ども夢パークは無料)

(ポイント) ・基本は、役員は引率と現地での見守りだけ担い、現地での行動は子どもたちの自主性に任せる。役員の事前準備等の負担は比較的少ない。
・川崎市子ども夢パークの施設の理念は、子ども会の理念とも近いと思うため、利用しやすい。

(提 供 元) 中原区

➤ 親子遠足企画の立ち上げ

(目 的) 子ども会会員の交流を深めるためのイベント

(内 容) 子どもだけでなく親も一緒に参加できる遠足(日帰り)行事を企画

○屋外施設

- ・川崎市子ども夢パーク ・上野公園 ・昭和記念公園
- ・平和の森公園フィールドアスレチック
- ・フィールドアスレチック横浜つくし野コース など

○屋内施設

- ・はまぎん こども宇宙科学館 ・科学技術館 など



※写真は川崎市子ども夢パーク

(ポイント) ・屋外の遠足を予定している場合は、雨天時対策として代替策(屋内)の場所をあらかじめ検討しておくこと
・施設によっては予約並びに昼食場所の相談が必要となる場合があるのであらかじめ確認すること
・人数が多い場合、バスは移動に適していない(全員乗り切れない)ため、電車と徒歩で行ける場所を検討することをお勧め

(提 供 元) 幸区

➤ 子ども会夏祭り

(目 的) 子ども会員や卒業した OB・OG との交流、会員・父母との交流、協力員との連携強化。

(内 容) 盆踊りを開催して、みんなで花火をする

○事前準備

- ・役員会で企画、協力員へのお手伝いの依頼
- ・行政各所への事前の手続き

○当日

- ・子ども会の親子さん・協力員・OB みんなで設営(テント・太鼓など)
- ・子どもたちにはくじ引きのブースを設置
- ・太鼓を囲んでみんなで踊る
- ・暗くなってからみんなで手持ち花火



- (ポイント)
- ・子ども達に楽しんでもらう。(全員の交流になる場を作る)
 - ・コロナ禍の為、地域の祭りが中止となり子ども会としての参加が出来なくなる中で子どもたちに何か出来ればと考えたことがきっかけ。
 - ・普段活動している場所では 3 密になり集まらない為、場所を探して実施。
 - ・コロナ対策や熱中症対策のマニュアルを作成、準備から当日まで検温チェック等の管理表を作り健康管理をしながら危機管理を行う。

(提 供 元) 多摩区

➤ 芋掘り大会

- (目 的) 子ども会会員の連携の促進
- (内 容) 子ども会新入会者との交流会
・芋掘り大会
・バーベキュー大会
・採れた芋でポテトチップスの作成
- (ポイント) ・地元の方と協力関係の構築と促進。
・農作物育成の苦労体験ができる。
- (提 供 元) 高津区

➤ 子ども会手旗・のぼりの作成（子ども会ロゴの作成）

- (目 的) 単会への愛着の醸造。
- (内 容) 子ども会のロゴを公募により応募。
そのロゴをもとに子ども会の手旗とのぼりを作成した。
手旗は、引率行事の引率時に目印として使用、のぼりは、中子連のイベント等の引率に目印として使用、また単会主催イベント時（夏祭り、餅つき、子どもフェスタ等）で会場に設置している。



- (ポイント) のぼり・手旗共に、いくつもの単会でのイベント時の目印としての効果は大きい。
- (提 供 元) 中原区

➤ クリスマス会

- (目 的) 子ども会会員の交流を深めるためのイベント
- (内 容) クリスマスを楽しく祝うイベント
○ 体育館で運動レク（フリスビードッチ、ボール遊び、大縄跳びなど）
○ 食事会（お寿司、ピザ、唐揚げ、ポテト、デザートなど）
○ ビンゴ大会
○ クリスマスプレゼント渡し
- (ポイント) ・食事についてはアレルギーの有無を確認し対応すること
・クリスマスプレゼントは男女別、学年別等工夫すること
- (提 供 元) 幸区

➤ **歓送迎会（春の子どもフェスタ）時にスライドショー「子ども会の一年間」の上映**

- （目 的） 子ども会の活動内容の紹介・周知。参加したことのないイベントの雰囲気
を伝える。
- （内 容） 子ども会の一年の活動内容をスライドショーで上映する。
- （ポイント） スライドショーは、育成会の定例会等でも使用し、新任役員への活動内容
の周知にも使用している。
- （提 供 元） 中原区

➤ **6年生を送る会**

- （目 的） 子ども会会員の交流を深めるためのイベント
- （内 容） 卒業する6年生を送る会
○イベント内容
運動レク：小学校（グラウンド・体育館）や公園を利用
食事会：団体利用可能なお店での食事会や東扇島公園でのバーベ
キューなど
卒業記念品贈呈（図書カード、マックカードなど）



- （ポイント） 年度末のイベントとなるため、食事会のお店は早めに手配しておくこと
（2～3ヶ月前）
- （提 供 元） 幸区

➤ **芋植え大会**

- （目 的） 子ども会会員の連携の促進
- （内 容） 卒業する6年生を送る会
○ 種芋植え大会・・・地元の方の畑でジャガイモの植え付けを行う。
○ 食事会を行う・・・現地で、工夫をしながら色々なものを作って食べる
- （ポイント） ・地元の方と協力関係の構築と促進
・余裕のある畑等を持っていて、協力して頂ける方がいる場合に開催が可
能
・畑等、土に触れる機会の少ない子どもにとっては、新鮮な経験である。
- （提 供 元） 高津区

➤ 「こども実行委員」の活用

- (目 的) こどもを主体とした子ども会運営の促進。子ども会は、子どもたちのもの感を出す。
- (内 容) 各イベントで、「子ども実行委員」を募り、イベント運営の企画・当日の手伝い等を担ってもらう。
特に春の子どもフェスタ（歓送迎会）は、子ども実行委員で進行してもらうように仕向けている。



- (ポイント) ・ イベント終了時に、育成会からの簡単なプレゼントとともに、責任者からお礼をお伝えしている。実行委員になることのモチベーションを上げている。子ども会の会長・副会長が担っていただく事も多い。子ども会の中でのリーダーの養成にも寄与していると思う。
- (提 供 元) 中原区

➤ 野球チームの組成

- (目 的) 子ども会会員の運動活動の場の提供。
- (内 容) 地域の野球チームとして、子ども会主催の大会他各種大会に参加。
夏場には合宿として野外活動も経験



- (ポイント) ・ 指導者ならびに練習場所の確保、大会等への申し込み手続き等必要なことから、単会の内部組織とし別建てで組織（〇〇単会野球部等）を構成したほうが運営しやすい。
- ・ 高額な競技道具（ユニホーム）等においては、町内会と相談し補助頂くことや夏祭りの夜店の売り上げで積み立てを行うなど長期的な計画が必要。
- ・ 子ども会の野球部として地域活動には積極的に参加すること。

(提 供 元) 幸区

➤ 羽根つきチームの組成

- (目 的) 子ども会会員の運動活動の場の提供。
- (内 容) 地域の羽根つきチームとして、子ども会主催の大会に参加する。
定期的に他区チーム含め練習試合や交流戦を実施



- (ポイント)
- ・指導者ならびに練習場所の確保、大会等への申し込み手続き等必要なことから、単会の内部組織とし別建てで組織（〇〇単会羽根つき部等）を構成したほうが運営しやすい
 - ・競技人口が少ないため、区内他チームや区外チームともコミュニケーションを取り合同練習や試合を行うなどの工夫が必要
 - ・競技道具である羽子板は川崎市子ども会連盟で購入することができる
 - ・子ども会の羽根つき部として地域活動には積極的に参加すること

(提 供 元) 幸区

➤ 絵画・漫画・イラスト教室

- (目 的) ①書初め絵画ちぎり絵大会というイベントからの子ども会勧誘
②絵画大会作品のレベル向上につながるものとする。

- (内 容) 絵の描き方の基本を学ぶ。
イラストや漫画（キャラクター）の描き方。
必要に応じて水彩絵の具を使用して色をつけることもある。



- (ポイント)
- ・自由参加とし、絵画大会出展作品を増やすのも目的としており、子どもたちに人気のある漫画やイラスト、また昨今絵画教室も増えていることから、絵を描くことを通して子ども会へ促せたらと考える。
また、中学生で使用するアクリル絵の具の前に、水彩絵の具をしっかりと使えるようにという目的もある。
 - ・指導者には…イラストレーターやアパレルメーカー勤務 企画デザイナーの他、趣味で絵画をやっているような地域の方など。

(提 供 元) 高津区

➤ オンラインお楽しみ会の開催

- (目 的) 緊急事態宣言下での子どもたちの交流を促す。
案内文「新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休校が長期化する中、子ども達の交流の機会が失われています。子ども会では、子どもたちが友達と顔を合わせる機会をつくりたいと考え、試行的に Zoom（ビデオ会議システム）を活用した交流会を開催します。」
- (内 容) メーリングリストで参加案内し、事前登録してもらう。Zoom（地域教育会議で契約したものを借用）を利用し、土曜日の夕方 1 時間ほど交流会を開催する。

<1 回目 54 名参加>

- 子ども会会長、副会長あいさつ
- Zoom 使用方法説明
- イベント
 - ・この場所どこだクイズ
 - ・手品
 - ・フリートーク

<2 回目 28 名参加>

- 育成会会長あいさつ
- Zoom 使用方法説明
- イベント
 - ・宝物と自己紹介
 - ・お絵描きクイズ
 - ・2019 年度活動報告動画

- (ポイント)
- ・進行は、大人の役員が行うが、如何にして子ども同士の会話ができるかの工夫が必要。Zoom だとチャット機能を子どもが自由に使い荒れてしまう（1 回目）ので、チャットを使用禁止とした。（2 回目）。
 - ・発言者以外ミュートにしていないと、主音声聞き取れないので、ホスト側で強制的にミュート設定した。
 - ・メニューの案
 - ① オンラインカラオケ大会（トップバッターは男性役員で）
 - ② 参加者全員で合唱（校歌等）
 - ③ ジェスチャーゲーム（有名人（校長先生、PTA 会長、芸能人等）のお題を出してあててもらう）
 - ④ オンラインしりとり

(提 供 元) 中原区

⑤ 情報共有（役員・会員との情報連絡など）

➤ 回覧簡易メールサービス

- （目 的） 子ども会会員へのメールでの情報提供、出欠確認の簡易化。
- （内 容） テクノミックス社の校区安心メールのシステムを使い、会員向けメールの一元化。入会時に校区安心メールへ登録してもらう。
- （ポイント） ・ 安心安全メールだけでの出欠確認の場合、参加率が下がるイベントも見受けられた。夏祭り等の参加率の高いイベントの出欠は、紙での出欠受付も併用した。
- （提 供 元） 中原区

➤ グーグルドライブによる情報共有

- （目 的） 育成会役員間の情報共有を促す。
- （内 容） 子ども会行事、育成会運営等のデータをグーグルドライブに集約し、役員間の情報伝達を容易にした。
定例会資料、報告事項、主催イベント等の回覧、打合せ資料のために役員間で共有している。
- （ポイント） 定例会資料等の共有に関しては、威力を発揮。ただ、役員の中には、PC系の不得意な方もいるので、使いこなしていただけない場合がある。
- （提 供 元） 中原区

➤ 報告書作成による情報共有

- （目 的） 育成会役員間の情報共有を促す。
- （内 容） 子ども会行事等の報告書を作成し、次年度引き継ぎ、運営に生かす。
- （ポイント） ・ 次年度の行事の引率、主催行事の企画等の報告書の共有で、新任役員の不安解消。
・ 報告書は、前年度のものの焼き直しで構わない。ホームページから直接・簡易に報告書を作成できないかは、模索中。

（提 供 元） 中原区

⑥ 広報活動

➤ こども会 Facebook 立ち上げ

(目 的) 子ども会の活動内容の広報。

(内 容) <https://www.facebook.com/miyukikids/>
イベントの活動内容、回覧内容を掲載。
「いいね」数は、多くて 20 弱の為、どこまで浸透しているか疑問。
更なる広報が必要。

(ポイント) 広報担当役員を任命し、フェイスブック作成をしてもらっている。
急な当日連絡の掲示板代わりに活用できる。

(提 供 元) 中原区

➤ 新一年生の入学説明会で子ども会入会案内ビラと歓送迎会（隣接子ども会と共催）ビラの配布

(目 的) 子ども会の広報。新一年生の加入促進。

(内 容) 新一年生の入学説明会時に子ども会入会案内と歓送迎会のビラを、PTA の資料とともに配布する。



(ポイント) 小学校および PTA の理解。配布のために育成会役員から 2,3 名応援を派遣している。2019 年の歓送迎会へ新一年生 10 名の加入があり、入会につながった。

(提 供 元) 中原区

➤ イベント・入会案内の掲示物の掲示による広報。

(目 的) 子ども会の活動内容の広報。

(内 容) イベント・入会案内の掲示物の掲示による広報。
○小学校の地域掲示板（2 年前に設けてもらう）
○マンションの掲示板
○町内会の掲示板

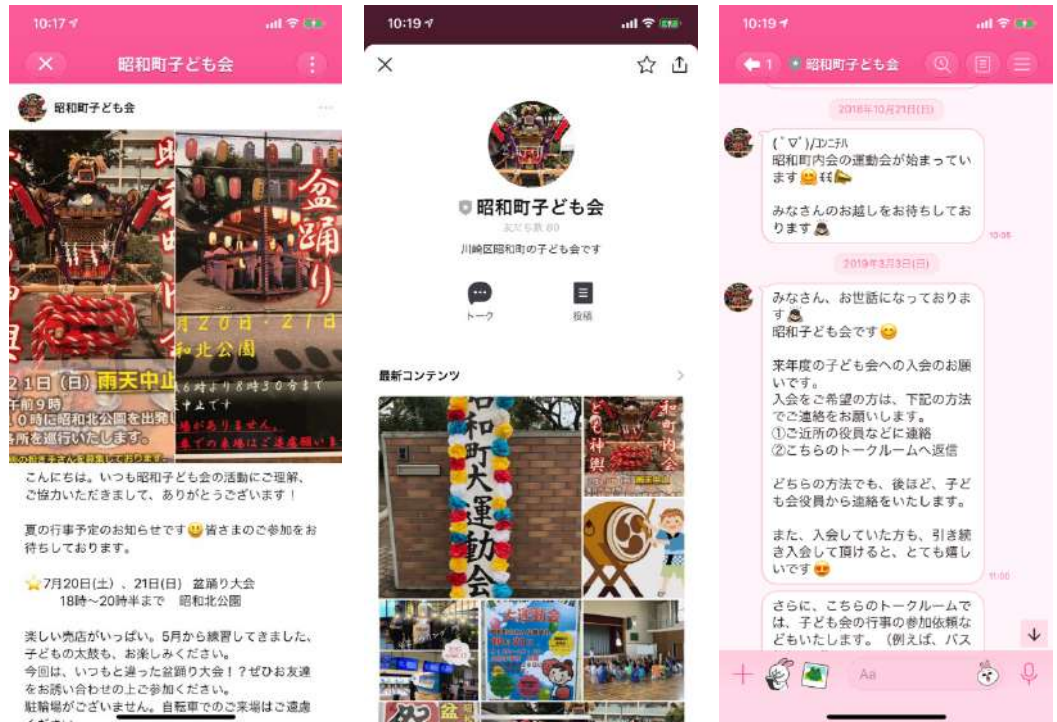
(ポイント) 町会、小学校の理解と連携。

(提 供 元) 中原区

➤ 単会でLINEの「公式アカウント」を開設

(目 的) 役員への負担減、子ども会の無い近隣の方々への広報。

(内 容) 単会でLINEの「公式アカウント」を開設
現在、無料版（月間HPへのUPは4回まで、メッセージは1000通）での運営
入会案内などや子ども会の行事は、HPにupし、お友達登録をしている人には、同様の内容をメッセージ送信



- (ポイント)
- ・昨年度、「町内会運動会」の時は、開始時間に合わせてHPに開催内容などをUPし、お友達登録をしているの方々には、子ども会の売店で購入できるクーポン券（綿あめ券）を発行。売店で見せるだけで、当日何回も購入できるようにした
 - ・集計はちゃんと行っていないが、登録されているお友達の約5割は使用していたようだった
 - ・今後は、役員がポスティングしている「行事のお知らせ」などを無くしていく方向で検討中

★登録している方との連絡はトークルームで行う
トークルームは登録している管理者しか見ることができないため限定し、個人情報が出ないようにしている

(提 供 元) 川崎区

➤ **子ども会新聞の発行（不定期）**

- (目 的) 子ども会の活動内容の広報。
- (内 容) 子ども会の活動内容に関して子ども会新聞を不定期で作成し、回覧、町会掲示板に掲示等を行う。
- (ポイント) ・作成は、会長だけの為、発行は不定期。最近発行無し。

(提供元) 中原区



➤ **入会案内と夏祭りのビラの小学校全校配布**

- (目的) 年度当初の新入会員獲得の促進。夏祭りイベントの広報。

(内容) 入会案内と夏祭りのビラの小学校全校配布
(800部カラー表裏)
(夏祭りは隣接子ども会と共催のため可能となっている。)

(ポイント) 全校配布のために、子ども会
会員でない児童家族にも情
報を届けられる。夏祭りの参
加希望を通して、加入者増に
もつながる。



(提供元) 中原区

➤ イベント・入会案内の掲示物の掲示による広報。

- | | |
|--------|---|
| (目 的) | 子ども会の活動内容の広報。 |
| (内 容) | 50 周年記念行事については、タウンニュース中原版に取材を受け、掲載してもらう。 |
| (ポイント) | タウンニュースの記者と懇意になれば、いろいろなイベントをニュースとして取り上げてもらう事が可能と思われる。 |

(提供元) 中原区

➤ チラシ作成

- (目 的) ①子ども会を知っていただく切っ掛けものとする。
②子ども会に入会を促すものとする。勧誘のためのものとする。
- (内 容) ①子ども会の案内チラシ
年間行事を記載したもの
※両面（4月配布）
②イベント共済加入イベント
※子ども会勧誘を目的としたもの
（7月配布）

- (ポイント)
- ・全校生徒に配布するようにする（兄弟姉妹配布要相談）
 - ・メジャー印刷会社に依頼をすることで価格を抑えられる。
 - ・学校に配布依頼をするのが大事。
その際には子ども会も「育成」をテーマに子どもたちと関わっていること、
学校側のお手伝いになれる団体であることを説明、理解をしていただくようにする。

(提 供 元) 高津区



➤ 退会者への対応

- (目 的) 子ども会への理解を得る。
- (内 容) 毎年度、お手伝いの募集と集金時に退会希望者が多くなる。
退会希望する保護者は育成会会長への直接申し出る。会長から子ども会の意義などを記載したお手紙を送付し慰留する。再度、退会の申し出があった場合、会長より希望者へ退会とする旨連絡する。
- (ポイント) <退会の主な理由>
- ・子どもが行事に参加しない。
 - ・保護者の子ども会行事への従事が負担。
 - ・未加入世帯が周囲にいる。

(提 供 元) 中原区

⑦ スタッフの人材確保

➤ みゆきおやじ隊の組成

- (目 的) 父親の子ども会行事への参加を促す。おやじ（父親）も一緒に子どもたちと楽しむ。
- (内 容) みゆきおやじ隊として、父親有志を事前に登録しておく。夏祭りでの水鉄砲企画、餅つきのつき手のイベント時に声がけして参加を促す。



- (ポイント) 現地でのおやじ達との交流により、どれだけ育成会側へ誘導できるか。将来の育成会役員への誘導にも役立つ。

(提 供 元) 中原区

➤ みゆきサポート隊の組成

- (目 的) 育成会 OB・子ども会 OB の参加・協力により、主催イベント運営の円滑化。
- (内 容) 小学校を卒業した子およびその親の継続的な関りを保ち、育成会運営の協力を仰ぐ。サポート隊として募集して、組織化。将来的には、おやじ隊と統合を検討。
- (ポイント) 小学校を卒業し中学生となると、子ども会と離れてしまうが、中学生等の協力により、子ども会運営も円滑に進む。

(提 供 元) 中原区

➤ 育成会男性役員の世帯交代

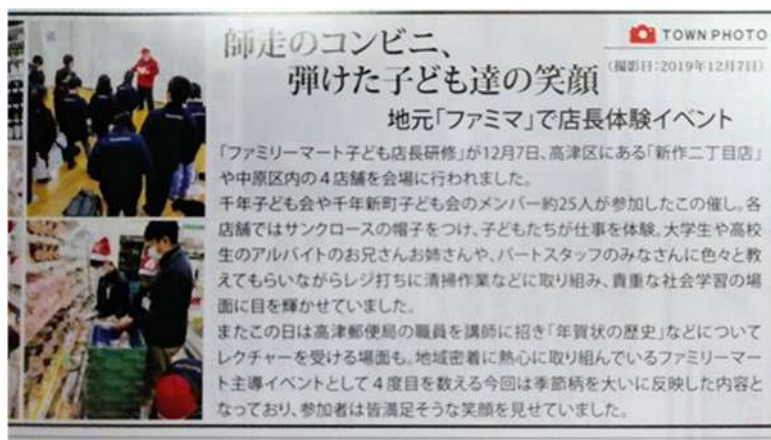
- (目 的) 育成会の世帯交代を促す。
- (内 容) 2019 年度から育成会会長交代、副会長 1 名から 3 名へ増強し、育成会男性役員の戦力増。会長業務の負担軽減し、育成会会長を交代した。
- (ポイント) 育成会会長に業務が偏りがちであるが、男性副会長を数名設けることにより、業務を分散し、会長業務を請け易いものとした。

(提 供 元) 中原区

⑧ 企業との取り組み

➤ 大手コンビニチェーン子ども店長研修

- (目 的) ①普段接していない大人や、職業体験を通して、子どものコミュニケーション能力と協調性を育てる。
②お金を稼ぐことの大変さを学ぶことで、お金に対しての価値観を考えてもらう。
- (内 容) 子ども会で参加者を募り、大手コンビニチェーン実店舗でお仕事を体験します。
レジ接客、品出し、清掃、お客様への声掛けなどを店舗にてスタッフさんたち指導のもとでおこないます。
また、開催する季節、または時期により、恵方巻、クリスマス、年賀状などに纏わるお話を伺い、時には外部団体の協力を得て講習を受けるなどもあります。



※郵便局の方から年賀状の講義を町会集荷所にて。
※スタッフさんと一緒に納品作業
※タウンニュース社掲載

- (ポイント)
- ・大手コンビニチェーンの子ども店長という企画を使用させていただき、子ども会で参加者を募り、大手コンビニチェーン神奈川ディストリクト主導のもとに、日程等を調整するようにする。
 - ・一般企業企画への便乗ということで、保険などは企業側が入れてくれるため、子ども会に未加入のお子さんでも参加できることから、子ども会勧誘へ繋がるイベントの一つとして考えることもできる。
 - ・企業により修了証も用意してもらえる。
- ※参加対象は店舗作業のことを考え小学生は3年生～とする。

(提 供 元) 高津区

<引継ぎメモ>

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

一般社団法人川崎市子ども会連盟
【子ども会マニュアル】

2021年1月1日 発行

発行者 (一社) 川崎市子ども会連盟
(発行責任 子ども会推進研究委員会)

〒216-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-6-10

生活文化会館（てくのかわさき）3階

T E L 044-811-2125 F A X 044-811-2126

[E-mail kawasaki@kodomo-kai.or.jp](mailto:kawasaki@kodomo-kai.or.jp)

http://www16.plala.or.jp/kawakoren/public_html/index.html

